

療考会ニュース2月号

先日1月16日、療考会で提出していた
「未就学障がい児の療育環境に関する陳情書(令和7年10月29日付)」
について、福岡市の関係機関から回答がありました。



出席者

《福岡市こども未来局》3名
こども発達支援課課長 米岡 史子 様
障がい児支援係長 横山 菜美子 様
障がい児支援係 岡田 竜輔 様

《福岡市議会 常任委員会》1名
福祉都市委員会 あべ ひでき 議員
(日本維新の会福岡市議団)

《療考会》10名

日時

令和8年1月16日(金) 10:00～12:00
場所：あいあいセンター7階 中研修室

当日の流れ

1. 自己紹介
2. 回答書の読み上げ
3. 質疑応答、自由発言
4. 意見交換



1. 交流保育の拡充について



Q 保護者ニーズの把握方法について

- 交流保育に特化した統一アンケートは実施していない。
- 民間の園の一部では、独自アンケートを実施している例がある。
- 市立センターでは、日常的な保護者とのやりとりの中で意見を把握している。
- 療考会のアンケートでは、定型発達児との違いを目の当たりにすることに心理的負担を感じる保護者も一定数存在している。
- 良い面がある一方、受け止め方はさまざまであるため、実施方法・回数は各園で検討し現在の形となっている。



Q 保護者が希望した場合の仕組みについて

- 交流保育を「必ず実施する」明確な制度・仕組みは現時点では存在しない。
- 市立センターは、福岡市設置・指定管理制度のもと、地域との交流をどのように行うかについて事業者が計画を立て、市と協議している。
- 保護者から意見があった場合は、市から指定管理事業者へ伝達し、実施可否や回数の工夫等について協議を行っている。
- その結果として、南部療育センターでは令和8年度から交流保育実施に向け調整中である。



Q 交流頻度の差を踏まえた共通指針について

- 現時点では市立センターにおける交流保育の共通指針・最低基準を設ける予定はない。
- 各園・受入先保育園の状況を踏まえながら、引き続き協議を行う方針である。



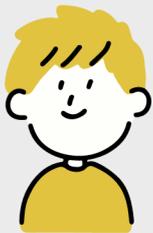
障がいのあるお子さん向け 子育てサポートガイドブックの普及について

Q&A



Q 周知時期・方法について

- 現在は12月(障がい者週間)に福岡市公式LINEアカウントで周知している。
- 制度改正等の影響により、更新時期は主に12月に行っている。
- 年度初めである4月に完全な最新版を提供することは難しい状況である。
- 今後は4月の年度初め、夏季から秋季(進路検討時期)、情報更新時など、複数回の周知が可能と考える。
- 周知タイミングについては、保護者意見を参考に検討する。



Q 配布場所の拡充の予定について

現在の配布場所：児童発達支援センター、区役所窓口

課題：発達に不安はあるが、まだ窓口につながっていない
家庭に届きにくい。

- 現状の対応：区役所(地域保健福祉課)の健診会場で掲示を依頼
ポスター作成、区役所へ配布・掲示
- 幼稚園・保育園・医療機関への展開については今後、担当部署と協議予定



要望 窓口対応のばらつきについて

- サポートガイドブックの認知に職員間で差があるため、周知拡大と併せて、窓口職員への周知徹底を求めた。



サポート保育・訪問支援について

Q&A

令和6年度の実績

市主催研修：全体研修5回、区別研修8回／園内研修：24回

保育所への訪問支援：151施設へ372回／幼稚園への訪問支援：53園へ116回

・訪問時間1時間程度のスポット支援から、1日かけた支援までさまざま行った。

・市の取り組みではないが、医師会が令和5年に指針になるような冊子を作成し、配布も行っている



Q

現場の困りごとについて

- ・現場の保育士から、子どもへの声かけや対応について、自身の対応が適切であるか、他園の対応事例を知りたいという意見が出されている。
- ・障がい理解や支援方法、具体的な声かけ・伝え方等については、現場の保育士向けに研修を実施しており、その中でもロールプレイ形式が特に有効であるとの意見が多く集まった。



イベントについて (ドリームナイト・アクアリウム等)

Q&A

- ・参加者から高い評価があり、継続を希望する声が寄せられている。
- ・療考会役員からも意見をいただいた本イベントが大変好評だったため、2025年11月に続いて、令和8年3月にも2回実施予定である。
- ・安全面等を考慮し、対象や人数は調整中である。
- ・市職員にとっても、参加者から直接反応を得られる貴重な機会であるとの認識が示された。

今年度も、福岡市と実りある意見交換の機会を持つことができました。
これからも福岡市と対話を重ねながら、歩み寄りを大切にし、より良い療育環境の実現に向けて活動していきます。
会員の皆様の温かいご理解とご協力に、心より感謝いたします。